

XT110C - XT111C - XT110D - XT111D

シングルステージ デジタルコントローラ

マルチセンサ入力



1. 全般的注意事項

1.1 使用前に取扱説明書を必ずお読み下さい

- 取扱説明書は、製品の一部です。いつでも参照できるようにして下さい。
- コントローラは、ここに記載以外の目的で使用しないで下さい。安全装置としては使用できません。
- ご使用前に使用上の制限を確認下さい。

1.2 安全に関する注意事項

- 電源接続の前に供給電圧が正しいかどうかを確認して下さい。
- 水や水分は絶対に避けてください。使用制限内のみでご使用願います。結露を防ぐため、高湿度下での急激な温度変化は避けてください。
- 警告！メンテナンスの際は、常に事前に全ての電気接続を遮断して下さい。
- コントローラは解体は厳禁です。
- 故障や不具合の場合、コントローラの販売店がディクセル社に問題の詳細と共に連絡、返送下さい。
- 個々のリレー端子に許容できる最大電流に注意して下さい。(テクニカルデータを参照)
- センサケーブル、機器接続ケーブルと電源ケーブルがお互いに十分な距離を確保するようにして下さい。クロスしたり絡まったりしないように注意して下さい。
- 産業用の環境でご使用の場合は、主電源フィルタ(弊社モデル FT1)を誘導負荷と平行に使用することをお勧めします。

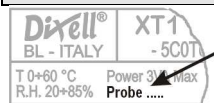
2. コントローラの概要

XT110C、XT111C、XT110D、XT111D コントローラ(DIN レールフォーマット)は、温度、湿度、圧力制御用の 1 点出力 ON/OFF コントローラです。ダイレクト出力、反転出力のいずれかをユーザーが選択できます。モデルによって、アナログ入力タイプは、次のパラメータで設定できます。

- PTC, NTC;
- PTC, NTC, Pt100, 熱電対 J, K, S;
- 4 ~ 20mA, 0 ~ 1V, 0 ~ 10V.

3. 迅速取付け

3.1 センサ設定



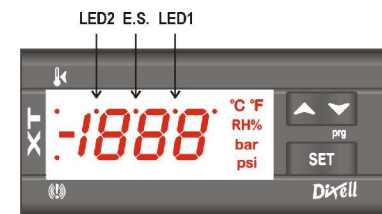
プリセットのセンサは、コントローラのラベルに記載されています。これ以外のセンサを使用する場合は、次の手順で設定して下さい。

3.1.1 センサの設定方法

- SET+ 上キーを 3 秒押ししてプログラムメニューに入ります
- Pbc (センサ設定)パラメータを選択して SET キーを押します
- センサの種類を設定します
 - 温度用コントローラ: Pt= Pt100, J= J 熱電対, c= K 熱電対, S= S 熱電対; Ptc= PTC; ntc= ntc.
 - 電流入力又は、電圧入力のコントローラ: cur=4 ~ 20mA, 0-1= 0 ~ 1V, 10= 0 ~ 10V
- SET キーで確定
- コントローラのスイッチを OFF してから再度 ON します

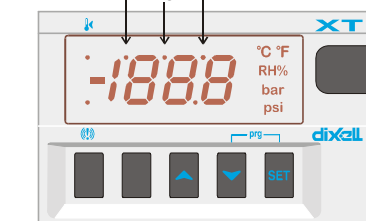
注: 先に進む前にチェックし、必要であれば適切な最小セットポイント(LS1 と LS2)と最大セットポイント(US1 と US2)を設定します。プログラムに関する説明部も参照下さい。

4. フロントパネルからのコマンド



SET: 目的のセットポイントの表示と修正; プログラムモードでパラメータの選択や確認
コントローラの ON/OFF: SET キーを 4 秒以上押しして機能 (パラメータ onF=yES) が有効になるとスイッチが OFF になります。スイッチを ON するには SET キーを押します。

UP キー: プログラムモードでパラメータコードを見つけた表示数値を増加したりします。押し続けると速く変化します。
DOWN キー: プログラムモードでパラメータコードを見つけた表示数値を減少したりします。押し続けると速く変化します。



キーコンビネーション

Up + Down キーボードのロックとアンロック

SET+ 上キー プログラムモードに入る

SET+ 上/下キー 室温表示に戻る

4.1 LED 表示の説明

フロントパネル上の LED は、コントローラで制御する機器をモニターするために使用されます。それぞれの LED 機能を次の表にまとめます。

LED	モード	機能
	ON	出力リレー有効
LED1	点滅	- プログラムモード (LED2 と共に点滅)
LED2	点滅	- プログラムモード (LED1 と共に点滅)
E.S.	ON	デジタル入力で省エネ制御実行中
	ON	- アラーム信号 - "Pr2" で表示されるパラメータは "Pr1" も存在

4.2 セットポイントの確認方法

- SET 上キー
- SET キーを押してすぐに放すとセットポイントが表示される
 - 通常の表示に戻るには SET キーをもう一度押すか、10 秒間待つ

4.3 セットポイントの変更方法

- SET 上キー
- セットポイント値を変更するには SET キーを 3 秒間押し続ける
 - セットポイント値が表示され、LED1 と 2 が点滅開始
 - 設定値を変更するには 10 秒以内に 上/下 キーで新しい数値を入力
 - この新しいセットポイントを保存するには SET キーを押すか 10 秒間放置

4.4 パラメータリスト "PR1" へのアクセス方法

パラメータリスト "Pr1" (ユーザーのアクセス可能パラメータ) へのアクセスは次の方法で行います。

- SET 上/下キー
- SET+ 上/下キーを 3 秒間押す (LED1 と 2 が点滅開始)
 - コントローラは Pr1 メニュー内の最初のパラメータを表示

4.5 パラメータリスト "PR1" と "PR2" へのアクセス方法

"Pr2" パラメータリストにはプログラム可能なパラメータを含みます。アクセスにはセキュリティコードが必要です。

- まず、上記を参照して "Pr1" レベルにアクセス
- "Pr2" パラメータを選択して "SET" キーを押す
- "PAS" 点滅メッセージが表示され、その後すぐに "0--" が点滅
- 上/下 キーを使ってセキュリティコードを点滅中の部分に入力し、"SET" キーで確定

セキュリティコードは、"321635"

- セキュリティコードが正しければ、SET キー押しして "Pr2" レベルへのアクセス完了

他のアクセス方法

コントローラのスイッチを入れた後、30 秒以内に SET+ 上/下キーを同時に 3 秒押すと Pr2 メニューへ入れます。

4.6 "PR2" 内のメニューを "PR1" へ移動する、又、その反対の方法

"Pr2" 内のパラメータはいずれも削除、あるいは、ユーザーレベルである "Pr1" への移動が可能です。これには "SET+ 上/下" キーを押します。"Pr2" 内にいる時、そのパラメータが "Pr1" にも存在する場合、LED が点灯します。

4.7 パラメータの変更方法

パラメータの値を変更するには次のように行います。

- プログラムモードに入る
- 変更したいパラメータを選択
- "SET" キーを押してその値を表示
- 上下の矢印キーで数値を変更
- "SET" を押して新しい値を保存し、次のパラメータに移動

抜け出るには: SET+ UP キーを押すか、どのキーにも触れずに 15 秒間待つ

注: 新たに設定した値は、タイムアウトによっても保存されます。

4.8 キーボードのロック方法



- 上/下 キーを 3 秒以上押し続ける
- "POF" メッセージが表示され、キーボードがロックされる。この段階では、セットポイントと保存された最高、最低温度のみが確認できる
- キーを 3 秒以上押し続けると "POF" メッセージが表示される

4.9 キーボードのアンロック方法

上/下 キーを "Pon" メッセージが表示されるまで、3 秒以上押し続ける

4.10 ON/OFF 機能

コントローラのスイッチ入り切り方法: もし、当該機能が有効となっていれば (パラメータ onF=yES), SET キーを 4 秒以上押すことでコントローラのスイッチが切れます。スイッチを入れるには、もう一度 SET キーを押します。

5. センサと測定範囲

センサ	下限値	上限値
NTC	-40°C / -40°F	110°C / 230 °F
PTC	-50°C / -58°F	150°C / 302°F

Pt100	-200°C / -328°F	600°C / 1112°F
TcK	0°C / 32°F	1300°C / 1999°F
TcJ	0°C / 32°F	600°C / 1112°F
TcS	0°C / 32°F	1400°C / 1999°F

6. パラメータリスト

	制御
Hy1	ディファレンシャル: (-Full Sc. / Full Sc.) セットポイントのディファレンシャル。正値でも負値でも設定可能。アクションの種類 (ダイレクト、又は、反転) は、S1C パラメータで (in 又は、di)
LS1	最小セットポイント: (Down Sc. ~ Set) セットポイントの最小値を設定
US1	最大セットポイント: (Set ~ Full Sc.) セットポイントの最大値を設定
S1C	出力タイプ: S1C=in 反転アクション (加熱/ 加湿 /圧力増加); S1C=dir ダイレクトアクション (冷却/ 除湿 /圧力減少)
AC	ショートサイクル防止遅延: (0 ~ 250 秒)最短出力停止時間
on	最短出力時間: (0 ~ 250 秒)
ono	停止後の出力遅延時間: (0 ~ 120 分)

	アラーム
ALC	温度アラーム設定: アラームがセットポイントか、絶対値に応じて作動するかを決める rE セットポイント + ALC; Ab 一定温度 (絶対値)
ALL	最小アラーム ALC=rE の設定で: セットポイントに応じる、(0 ~ Down Sc.-Set) この値は、セットポイントから差し引く。センサ感知温度が“SET-ALL”よりも下回るとアラーム信号が有効になる ALC=Ab の設定で: 絶対値、温度センサ値が“ALL”値よりも下回ると最小アラームが有効に
ALU	最大アラーム ALC=rE の設定で: セットポイントに応じたアラーム、(0 ~ Full Sc.-Set) 温度センサ感知温度が“SET+ALU”を上回ると最大アラームが有効に ALC=Ab の設定で: 絶対値アラーム、(Set ~ Full Sc.) センサ温度が“ALU”値を上回ると最大アラームが有効に
ALH	アラーム復帰に必要なディファレンシャル: (0.1 ~ Full scale) センサ数値がアラーム数値 + ALH よりも高くなるとアラームは復帰
ALd	アラーム遅延: (0 ~ 999 分) アラーム状態確認からの出力遅延時間
dAO	始動時のアラーム遅延: (0 ~ 23.5 時間) コントローラの電源投入後にアラーム状態を確認してからアラーム信号を発するまでの遅延時間
So1	センサ異常時のリレー状態: So1=oFF 開; So1=on 閉
tbA	キー押しした後のアラームリレー状態 (XT111C/ XT111D のみ): oFF = リレー無効; on = リレー有効
AS	アラームリレー設定 (XT111C/ XT111D のみ): cL = アラーム状態で 4-6 端子開 ; oP = アラーム状態で 4-6 端子閉

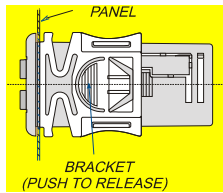
	センサとディスプレイ
LCi	スケール開始、電流が電圧入力のみで: (rES = in で、dE, cE: -99.00 ~ 199.00, rES=irE で、-999 ~ 1999) 出力の調整は 4mA 又は、0V 入力信号に対応電流又は電圧入力のみ
UCi	スケール終了、電流が電圧入力のみで: (rES = in で、dE, cE: -99.00 ~ 199.00, rES=irE で、-999 ~ 1999) 出力調整は、20mA 又は、1V 又は、10V 入力信号に対応電流又は電圧入力のみ
oPb	センサ補正: (-999 ~ 999) センサのオフセットを調整
rES	分解能: コントローラの分解能を選択 in= 整数 (-99 ~ 199) dEC= 1 小数点 (-99.0 ~ 199.0) cE = 2 小数点 2 位まで (-99.00 ~ 199.00) 電流又は電圧入力のみ irE = 整数、大きいスケール (-999 ~ 1999)は、電流と電圧入力にのみ 警告: rES が irE なら他の数値に変更された場合、次のパラメータ: SET, Hy1, LS1, US1, ALL, ALU, ALH, LCi, uCi, LAo, uAo, HES, は全てチェックし設定しなおす必要があります。 注: 熱電対入力によるモデルは小数点表示は選択できません。
UdM	測定単位: モデルによって異なる 温度: °C = 摂氏; °F = 華氏 4 ~ 20mA, 0 ~ 1V, 0 ~ 10V 入力で: 0 = °C; 1 = °F, 2 = %RH, 3=bar, 4=PSI, 5=測定単位無し
PbC	センサ選択: センサの種類を設定。モデルによって異なります。 温度センサ NTC/PTC: Ptc = PTC; ntc = ntc. 温度センサ標準: Pt= Pt100, J = J 熱電対, c = K 熱電対, S = S 熱電対; Ptc = PTC; ntc = ntc. 4 ~ 20mA, 0 ~ 1V, 0 ~ 10V 入力で: cur=4 ~ 20mA, 0-1 = 0 ~ 1V, 10 = 0 ~ 10V
P3F	Pt100 センサの 3 本目のワイヤ: Pt100 センサの 2 線タイプか 3 線タイプを選択 : no = 2 線タイプ; yES = 3 線タイプ

	アナログ出力 - XT110D, XT111D のみ - オプション
AOC	アナログ出力設定 (アナログ出力モデルのみ): AOC=Pb センサ読み。アナログ出力パラメータの LAO と UAO は、独立していてセンサ信号の読み出しの絶対値に対応 AOC=Er センサのセットポイント。アナログ出力パラメータ LAO と UAO は設定に関連
LAO	アナログ出力下限: (アナログ出力モデルのみ) 4mA アナログ出力に相当する最低温度。AOC パラメータの設定でこの値は、セットポイントに対して絶対値、相対値のいずれにも
UAO	アナログ出力上限: (アナログ出力モデルのみ) 20mA アナログ出力に相当する最高温度。AOC パラメータの設定でこの値は、セットポイントに対して絶対値、相対値のいずれにも
SAO	センサ異常に対するアナログ出力セーフティ (アナログ出力モデルのみ): センサ異常時にアナログ出力がとる状態を決める: SAO = oFF; アナログ出力 = 40mA. SAO = on; アナログ出力 = 20mA
	デジタル入力
HES	省エネサイクル中のセットポイント変更 : (Down Sc./Full Sc.) 省エネサイクル中のセットポイント変更を設定 (SET+HES 制御)
i1F	デジタル入力作動モード: デジタル入力機能を設定: c-H =出力の反転; oFF = コントローラを OFF に; AUS = 未使用; HES = 省エネ; EAL =外部アラーム; bAL = 重大外部アラーム; (制御停止)
i1P	デジタル入力極性 CL : 接点開でデジタル入力が有効に(A 接点入力) OP : 接点開でデジタル入力が有効に(B 接点入力)
did	デジタル入力アラーム遅延: (0 ~ 255 分) 外部アラーム状態感知から(i1F= EAL 又は、i1F = bAL) 出力までの遅延時間
	その他
Adr	RS485 シリアルアドレス (0 ~ 247) コントロールあるいは、監視システム内の機器を特定
onF	キーボードから ON/OFF スイッチングを有効に: (no = 無効; yES=有効) SET キーを 4 秒以上押し続けることでコントローラの ON/OFF スイッチが可能に
Ptb	パラメータ表: (リードオンリー) パラメータマップのコードを表示

rEL **ソフトウェアリリース:** (リードオンリー)
Pr2 Pr2 パラメータプログラムメニューへの**アクセス**

7. INSTALLATION AND MOUNTING

コントローラの XT110C と XT111C は、縦パネル部の 29x71 mm 切抜き部に同梱のブラケットを使用し取付けます。
一方、XT110D と XT111D は、オメガ DIN レール(3)に取付けます。保護クラスの IP65 を達成するには、右図のように前面パネル用ゴムガasket (モデル RG-C)をご使用下さい。
正常使用の温度範囲は、0 ~ 60 °C です。過剰な振動、腐食性ガス、ほこりや湿度環境での使用は避けて下さい。各リレー端子についても同じことが言えます。空気がクーリング穴から循環するようにして下さい。



8. 電気接続

スクリー型端子部は断面積 2.5mm² までのケーブルがつけます。ケーブル接続前に電源電圧がコントローラの仕様と合っているか確認して下さい。センサケーブルは、電源ケーブル、出力ケーブル、電源接続ケーブルから離して下さい。各リレー端子の最大許容電流を上回らないようにして下さい。過大負荷に対しては適切な外部リレーを使用願います。

9. シリアル接続

全てのモデルはシリアルポート経由でモニタリング&監視システムの XJ500 に接続できます。この場合、外部の XJ485 シリアルモジュールが必要です。
標準の ModBus RTU プロトコルが使用されます。
注: 電流あるいは電圧入力で 230V や 115V 電源用の XT110C 又は、XT111C コントローラは、XJ485 シリアルモジュールとの接続はできません。

10. ホットキーの使い方

10.1 コントローラからのホットキーのプログラミング方法 (アップロード)

- コントローラ前面のキーパッドを使用
- コントローラが **ON** の状態で**ホットキー**を挿入し、 キーを押す。; "uPL" メッセージが現れ、続いて“End”がフラッシュ
- "SET"を押して、End のフラッシュを終了させる
- コントローラの電源を切り、**ホットキー**を取り外し、再度、コントローラの電源を入れる

注: プログラミングが失敗した時は、“Err”メッセージが表示される。この場合、アップロードを再度試みたいなら、 キーをもう一度押してみる。操作を中止するには**ホットキー**を取り外す。

10.2 ホットキーでのコントローラのプログラミング方法 (ダウンロード)

- コントローラの電源を切る
- 5 **ピンシベタクル部にプログラム済みのホットキー**を挿入し、コントローラの電源を入れる
- 自動的に**ホットキー**からパラメータリストがコントローラのメモリにダウンロードされる。“dOL”メッセージが点滅し、次に“End”メッセージがフラッシュ。
- 10 秒後、コントローラは新しいパラメータでの作動開始
- ホットキー**を取り外す

注: プログラミングが失敗した時は、“Err”メッセージが表示される。この際、ダウンロードを再度試みたい場合、コントローラを再起動する。または、**ホットキー**を取り外して操作を終了する。

11. デジタル入力

当該コントローラには無電圧デジタル入力がひとつ付いています。これは“i1F”パラメータによって 5 種類の異なる設定にプログラムできます。

11.1 出力の反転: 加熱 - 冷却 (i1F = C-H)

コントローラの制御を反転できます。:ダイレクトから反転へ、また、その反対

11.2 外部入力による制御の ON/OFF (i1F = OFF)

外部入力によりでスイッチを ON/OFF できます。

11.3 アラーム (i1F = EAL)

デジタル入力がアクティブになり次第、ユニットは“did”遅延時間を待って“EAL”アラームメッセージを送信。出力状態は変化無し。デジタル入力が無効になり次第、アラームは停止。

11.4 重大アラームモード (i1F = BAL)

デジタル入力がアクティブになると、ユニットは“did”遅延を待って“bAL”アラームメッセージを送信。リレー出力はスイッチ OFF。デジタル入力が無効になり次第、アラームは停止。

11.5 省エネ (i1F = HES)

省エネ機能は、セットポイント値を SET+ HES (パラメータ) 合計の結果として変更が可能。当該機能は、デジタル入力がアクティブになるまで有効

12. アラーム信号

メッセージ	原因	出力
"PFo135	センサ故障又は、存在せず	アラーム出力 ON; "So1"に応じて出力
"PFo135	センサ短絡	アラーム出力 ON; "So1"に応じて出力
"HA135	最大アラーム	アラーム出力 ON; 他の出力変更無し
"LA135	最小アラーム	アラーム出力 ON; 他の出力変更無し
"EAL135	外部アラーム	出力変更無し
"bAL135	重大外部アラーム	出力 OFF

12.1 アラームリレー状態

コントローラの状態	XT111C		XT111D	
	AS = CL	AS = oP	AS = CL	AS = oP
コントローラ OFF	4-6 閉	4-6 閉	20-21 閉	20-21 閉
通常作動	4-6 閉	4-6 閉	20-21 閉	20-21 閉
アラーム状態	4-6 開	4-6 閉	20-21 開	20-21 閉

12.2 ブザー停止/アラームリレー出力

アラーム信号がブザーを感知すると、どのキーを押しても停止させることができます。
XT111C/XT111D: アラームリレー状態は tbA パラメータで決まります。: tbA=yES の設定でどのキーを押してもリレーは無効にできます。 tbA=no で、アラーム状態が続く限り、アラームリレーは有効状態を継続します。
アラーム状態が続く限り、ディスプレイの表示は維持されます。

12.3 アラーム復帰

センサアラームの "PFo", (tBfc) は、センサ自体の異常発生後、数秒で始動; センサが正常作動を再開すると数秒後に自動的にセンサアラームは停止。センサを新しいものと交換する前に接続状態をチェックのこと。

最大、最小アラームの "HA" と "LA" は、変数が正常値に戻るとすぐに自動的に停止。
アラームの "bAL" と "EALi3" は、デジタル入力が無効になり次第復帰します。

13. テクニカルデータ

ハウジング: 自己消化性 ABS 樹脂

ケース: XT110C, XT111C: 前面 32x74 mm; 奥行き 60mm

XT110D, XT111D: 4 DIN モジュール 70x85 mm; 奥行き 61mm

マウント: XT110C, XT111C 71x29 mm のパネル切抜き部に装着

XT110D, XT111D: DIN レール

保護クラス: IP20.

前面保護: XT110C, XT111C 前面にガasket (RG - C) 使用の条件で IP65

接続: スクリュー端子ブロック ≤ 2.5 mm² 耐熱性ワイヤ

供給電源: 12Vac/dc, ±10% 又は、: 24Vac/dc ± 10% ("C" フォーマットのみ)、又は、
230Vac ± 10%, 50/60Hz or 110Vac, ± 10%, 50/60Hz

電力吸収: 3VA max.

ディスプレイ: 3" 桁、赤色 LED

入力: オーダー内容により: NTC/PTC 又は、NTC/PTC /Pt100 /熱電対 J, K, S 又は、4 ~ 20mA / 0 ~ 1V / 0 ~ 10V

リレー出力: 機器リレー SPDT 8(3)A, 250Vac

アラーム: (XT111C/XT111D) リレー SPDT 8(3)A, 250Vac

他の出力: ブザー (オプション)

アクションの種類: 1B; 汚染グレード: ノーマル, ソフトウェアクラス: A

データ保存: 不揮発性メモリ (EEPROM)

作動温度: 0 ~ 60 °C (32 ~ 140 °F); **保管時温度:** -30 ~ 85 °C (-22 ~ 185 °F).

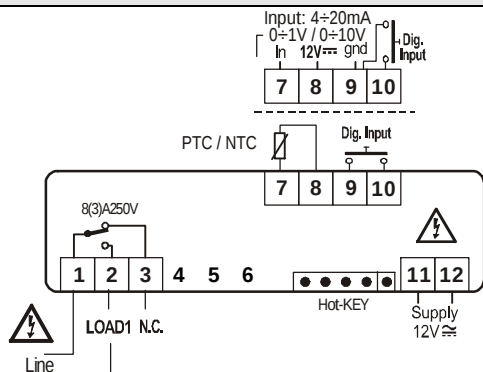
相対湿度: 20 ~ 85% (結露しないこと)

測定と制御範囲: センサ次第

コントローラの精度 (25°C): フルスケールの ±0.5% 以上

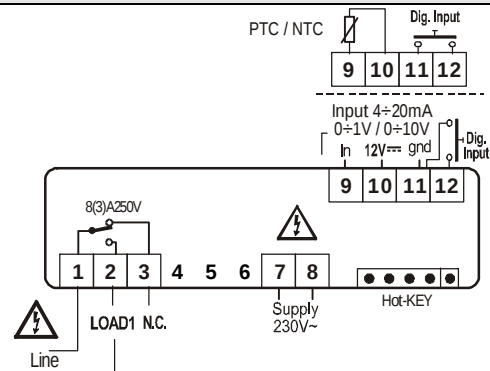
14. 接続

14.1 XT110C - 12V AC/DC 又は、24V AC/DC



センサ: Pt100= 7 - 9 (8); **熱電対** J, K, S = 7(+); 9(-)
24Vac/dc **電源:** 11-12

14.2 XT110C - 230V AC OR 115V AC

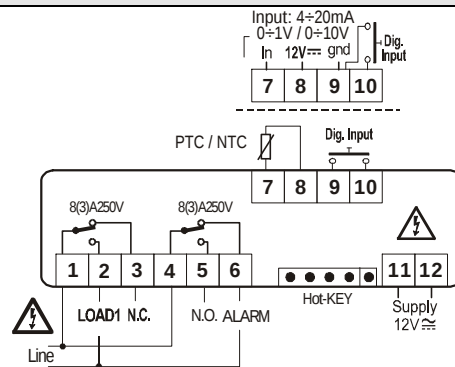


Pt100=9 - 11 (10); **熱電対** J, K, S = 9(+)- 11(-)

XT110-111C-D 和訳

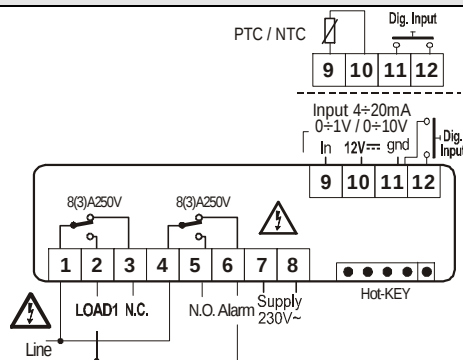
115Vac **電源:** 7-8

14.3 XT111C - 12VAC/DC 又は、24VAC/DC



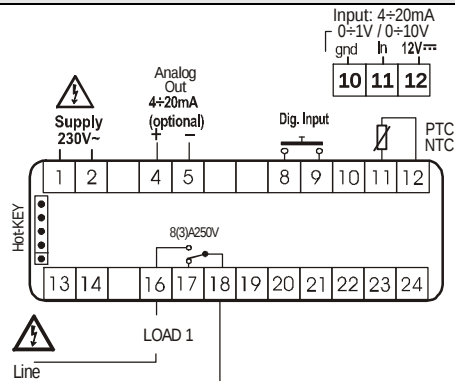
センサ: Pt100= 7 - 9 (8); **熱電対** J, K, S = 7(+); 9(-)
24Vac/dc **電源:** 11-12

14.4 XT111C - 230V AC 又は、115V AC



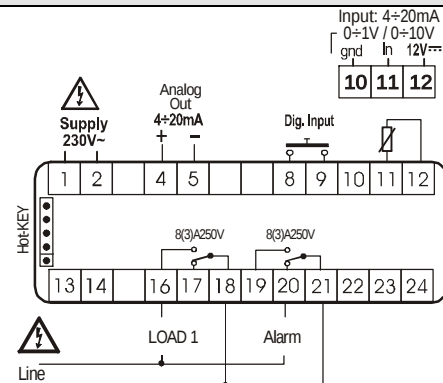
センサ: Pt100=9-11 (10); **熱電対** J, K, S = 9(+)- 11(-)
115Vac **電源:** 7-8

14.5 XT110D - 230V AC 又は、120V AC 又は、24V AC



Probe: Pt100=11 - 10 (12); **熱電対** J, K, S = 11(+)- 10(-)
115Vac **電源:** 1-2; 24Vac **電源:** 1-2

14.6 XT111D - 230V AC 又は、120V AC 又は、24V AC



センサ: Pt100=11 - 10 (12); **熱電対** J, K, S = 11(+)- 10(-)
115Vac **電源:** 1-2; 24Vac **電源:** 1-2

15. 初期設定値

コード	名称	範囲	°C/°F	レベル
Set	セットポイント	LS1 ~ US1	0/32	-
Hy1	デファレンシャル	-Full Sc./ Full Sc.	-1/-2	Pr1
LS1	最小セットポイント	Down Sc./ Set	min	Pr2
US1	最大セットポイント	Set/ Full Sc.	max	Pr2
S1C	出力のタイプ	in= 反転; dir=ダイレクト	in	Pr2
Ac	出力最低停止時間	0 ~ 250 秒	0	Pr2
on	最低出力時間	0 ~ 250 秒	0	Pr2
ono	停止後再出力遅延時間	0 ~ 120 分	0	Pr2
ALC	アラーム設定	rE=相対.; Ab= 絶対	rE	Pr2
ALL	最小アラーム(ALC=rE) (ALC=Ab)	0 ~ Start Sc.-Set Start Sc. ~ ALu	10.0/ 20	Pr2
ALU	最大アラーム(ALC=rE) (ALC=Ab)	0 ~ Full Sc.-Set ALL ~ Full Scale	10.0/ 20	Pr2
ALH	アラーム復帰デファレンシャル	0 ~ Full scale	2.0/4	Pr2
ALd	アラーム出力遅延時間	0 ~ 999 分	15	Pr2
dAO	始動時のアラーム遅延時間	0 ~ 23 時間 50 分	1.3	Pr2
So1	異常センサ時の出力状態	oFF=開 on=閉	oFF	Pr2
tbA ¹	アラームリレー無効	no; yES	yES	Pr2
AS ¹	アラームリレー極性	CL 又は、oP	oP	Pr2
Lci ²	電流又は、電圧入力時の始動時スケール	-1999 ~ 1999	various	Pr1
Uci ²	電流又は、電圧入力時の最終スケール	-1999 ~ 1999	various	Pr1
OPb	センサの補正	-Full Sc./ Full Sc.	0.0	Pr1
rES	分解能	in=NO; dE=0,1; cE=0,01	in	Pr2
UdM	測定単位 (温度) (電流/電圧)	°C=°C; °F= °F; 0=°C; 1=°F; 2=RH; 3=bar; 4=PSI; 5=off	various	Pr1
PbC	センサの種類	Pt=Pt100; J=tcJ; c= tck; S=tcS; Ptc=PTC; ntc= NTC; 0-1=0 ~ 1V; 10= 0 ~ 10V; cur=0 ~ 20mA	various	Pr1
P3F	Pt100 Ω センサの種類	no=2 線式; yES=3 線式	no	Pr2
Aoc ³	アナログ出力設定	Pb / Er	Pb	Pr2
LAo ³	アナログ出力下限	Down Sc./ Full Sc.	0	Pr2
UAo ³	アナログ出力上限	Down Sc./ Full Sc.	0	Pr2
SAo ³	センサ異常時のアナログ出力安全	oFF / on	oFF	Pr2
HES	省エネ設定値(SET+HES 制御)	Down Sc./ Full Sc.	0.0	Pr2
i1F	デジタル入力設定	c-H / oFF / AuS / HES / EAL / bAL	EAL	Pr2
i1P	デジタル入力極性	cL=閉; oP=開	cL	Pr2
did	デジタル入力のアラーム遅延	0 ~ 120 分	0	Pr2
Adr	シリアルアドレス	0 ~ 247	1	Pr2
OnF	oFF 機能有効	no=無効; yES=有効	no	Pr2
Ptb	パラメータ表	リードオンリー	--	Pr2
rEL	ソフトウェアリリース	リードオンリー	---	Pr2
Pr2	Pr2 へのアクセス	リードオンリー	321	Pr1

¹ XT111C/XT111D のみ² 4 ~ 20mA 又は、0 ~ 1V 又は、0 ~ 10V のモデルのみ³ アナログ出力のモデルのみ

Dixell S.p.A. Z.I. Via dell'Industria, 27
32010 Pieve d'Alpago (BL) ITALY
tel. +39 - 0437 - 98 33 - fax +39 - 0437 - 98 93 13
E-mail: dixell@dixell.com - <http://www.dixell.com>

日本エマソン株式会社
〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3 - 9 - 5 新横浜第 3 東昇ビル 2F
コーブランド事業部 電話: 045 - 475-6371 FAX: 045 - 475-3565
フローコントロールズ事業部 電話: 045 - 475-3670 FAX: 同上
<http://www.emerson.co.jp/>